

経済学部 ホームページ

経済学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには、「経済学部ホームページ」をご確認ください。ゼミでの研究テーマを紹介する「ゼミPRESS」や「3分でわかる新カリキュラム」など、学びの魅力に触れられるコンテンツが充実しています。



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web 2023年4月リニューアル

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック!\



関西大学 入試センター × LINE公式アカウント



関西大学 入試センター 公式Instagram



関西大学 入試広報 公式Twitter



関西大学 入試センター 公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

経済学部

Faculty of Economics

経済学科

- 経済政策コース
- 歴史・思想コース
- 産業・企業経済コース
- 国際経済コース

関西大学経済学部では 各々の興味・関心に応じた 4つのコースを提供しています

学部長からのメッセージ

学生のニーズにあった多様な学びをサポートします

関西大学経済学部では、専門科目を導入・基本・展開科目と分類し、経済学を無理なく体系的に学べるプログラムを導入しています。具体的には、1年次は比較的身近な教養科目、語学・専門科目をバランスよく履修・習得し、その後に専門科目を深く学べるような授業体系となっています。また、3・4年次に履修するゼミナールや卒業論文は、授業で身に付けた知識や技能を生かす実践科目として位置付けています。

大学4年間を通じて、教員や他学生との密接な交流を経て、自らの思考力を高めると同時に社会で活躍するために必要な協働する力を養います。海外留学や資格取得などにも挑戦しやすい環境で、学生一人ひとりが希望する多様な学びをサポートする体制が整っています。

経済学部長 佐々木 保幸 教授



経済政策コース

財政、社会保障、雇用、地方創生など政府活動に関わる問題を考察します。消費税、年金、東京一極集中の是正など政府の政策は個人の生活、経済全体に大きな影響を及ぼします。また、環境問題など市場に任せていては解決が難しい問題に対しては政府の役割が欠かせません。このようなさまざまな社会問題に対処する政府の経済政策を学びます。

学びのキーワード

- 少子高齢化
- 年金
- ふるさと納税



実社会で起きている問題を題材に データの扱い方や作り方を身に付けます

ゼミでは、「地方の人口を増やすために必要な政策とは何か」「男性の育休取得率を向上させるには」など、社会で起きている課題や出来事について、理論やデータを用いながらグループで研究を進めています。既に存在するデータを大量に用いたとしても、新たな政策を作ることが難しい場合も多々あります。そのため、データの深掘りや、回帰分析という手法を用いて新たにデータを作ることにより、考察を進めました。また、発表スライドもわかりやすい表現を意識してまとめ、学内のゼミナール大会や他大学との合同発表会に参加してきました。こうして学びを深める中で、税制や社会保障などのニュースに対して、その政策の成立過程に考えを巡らせるようになりました。

4年次生 岸田 佑太さん

歴史・思想コース

経済や社会思想が発展してきた過程を歴史的に考察します。例えば、大阪には江戸時代、世界に先駆けて先物取引市場を整備した堂島米会所がありました。現代の経済社会は歴史の上に成り立っています。過去を知ることで、現代経済の問題を解決するための新たな糸口を模索します。

学びのキーワード

- 日本の近代化
- 資本主義
- 植民地



現在の経済や社会を深く理解するには、 そのルーツを探ることが有効です

日本を含めた世界の経済社会の歴史やその背景となった思想について学び、現代の社会と経済の成り立ちやその課題を解決するためのヒントを考えます。ゼミでは日本の経済社会のさまざまな事柄を歴史的な視点から考察しています。例えば、大阪の中心市街地のルーツは豊臣秀吉による開発にあり、その痕跡は今も数多く残されています。加えて、大阪市内の河川に渡し船が多いのは、江戸時代以来の河川舟運と大阪の経済的繁栄に由来することも知りました。現代と過去は密接に関係しており、歴史的な出来事やものの見方は現在の経済や社会を理解するうえでも役立つことを実感しています。

4年次生 塩路 彩奈さん

産業・企業経済コース

企業はビジネスの現場においてモノ・サービスを提供したり、労働者を雇用したり、設備に投資したりと経済活動において重要な役割を果たしています。ビジネスの現場で起きているさまざまな現象の本質を読み解くために、企業の行動原理やビジネスデータを分析・活用する方法を学びます。

学びのキーワード

- マーケティング
- 地域経済の活性化
- キャッシュレス



マーケティングの知識を学んだうえで 自分の興味を自由に掘り下げることができます

企業のマーケティングや地域経済について学んでいます。先日は飲料メーカーの流通チャネル戦略について、コンビニやスーパーとは異なる自動販売機のビジネスモデルを調べました。身のまわりに当たり前にあるモノやコトを再検証して、自分の認識が変わる点に面白さを感じています。4P分析などのマーケティング手法を身に付けたうえで、卒業論文の執筆を進めています。「ウイスキー業界の産業構造と競争戦略」をテーマに、大手メーカーのマーケティング戦略分析を行い、地域活性化の事例となる蒸溜所の見学にも出かけました。教科書で学ぶだけでなく、自分の興味に引き寄せて調べられる点に魅力を感じています。

2023年3月卒業 梅沢 莉央さん

国際経済コース

ヒト・モノ・サービス・カネが国や地域を越えて移動するグローバル社会を考察します。モノの移動を考える国際貿易、カネの移動を考える国際金融など世界経済の仕組みを理解するとともに、経済発展著しい中国・インドなど個別の国の経済事情を学びます。

学びのキーワード

- 貿易摩擦
- SDGs(持続可能な開発目標)
- 移民・難民



世界各国におけるジェンダーギャップについて データを用いて分析しています

ゼミでは主にデータ分析を用いて、世界の男女格差とスポーツの関わりについて研究しています。具体的には、オリンピックのメダル獲得数と、政治・教育・健康・経済という4つの指標に基づく男女格差のデータの関連を調査しました。分析を進めてみると、教育と経済がメダル獲得数に影響しているという結果が見えてきて、女性の進学率が低い地域ではスポーツの練習量が少ないことや、女子スポーツ大会の賞金額が少ないと女子アスリートの育成が進まないといったことが考察でき、データに対する理解が進みました。今後はデータ分析に使用する指標を増やして男女格差の実態をつかみ、格差が世界に与える影響を詳しく研究するつもりです。

4年次生 平木 丞之介さん

学びのプロセス

経済学部では、経済学を読み解く基本ツールの確実な習得、論理的な思考力の養成、問題の分析と解決能力の習得をめざしています。1・2年次で経済学の基礎能力を習得したうえで、3年次以降は各々の関心と目的に沿って、4つのコースに所属し、学びを深めます。



※このカリキュラムは2023年度入学生用です。一部科目は変更される可能性があります

経済学部 学びダイジェスト

学生が主体的に学べる環境が整っていることが経済学部の特徴です。

経済学への興味を高め、4年間を通じ各々の関心に応じた学修をしっかりとサポートします。

1年次 入門的な科目を通して経済学の基礎知識を取得

個人の行動が社会全体の経済にどう影響するかを学びます

経済社会の流れを理解するために、マクロ経済学とミクロ経済学を通して経済学の基礎を学びます。例えば「マクロ経済学入門」では、インフレについて学びます。物価が上がると景気に悪影響を与えるというイメージをもっていました。売上や賃金が上がるといふ側面もあります。経済学を学んだことで、利益を最大化するという観点から物事をとらえるようになりました。今後は日本の景気について深く学びたいと考えています。



2年次生 佐伯 謙輔さん

2年次 基本科目を中心に、体系的な学習を実現

1年次よりさらに深く、多様な視点から経済を学びます

2年次になると、多様な視点から学びます。例えば「社会思想史」では、歴の流れを考えます。「政府の介入がインズ、「分業により生産性を高められない」と唱えたアダム・スミスな考え方を学びます。さまざまな視点から経済の流れを捉えることがとても興味深く、知識を実感しています。

点から経済を学びます

専門的な知識を学び、歴史的な視点から経済必要だ」と提唱したケルン、政府の介入はい、主要な経済学者から経済の流れを捉増やすことに楽しさを



3年次生 石渡 瑞己さん

3・4年次 4コースへの所属、少人数のゼミで専門性を追求

日本でキャッシュレス化が進まない理由について、国際比較を用いて分析しました

企業の戦略的行動をめぐって、経済理論やデータを用いて検証しています。私は、日本でキャッシュレス化が進まない理由を探るために、25カ国のデータを集めて分析しました。ゼミのメンバーで作業を分担し、データが見つからないものは代替案を用いることで、データセットを完成させることができました。そして、プレゼンテーションの練習を重ねて改善を続けた結果、3年次に出場した他大学との合同ゼミナール大会では優勝することができました。



2023年3月卒業 藤原 江里子さん

経済学部独自の留学制度 GoLDプログラム

ビジネスの市場が国境を越えて広がる昨今、世界で活躍できるスキル・感覚を身に付けた人材が社会で求められています。経済学部では、2009年に学部独自の留学プログラムであるGoLDプログラム(Global Leadership Development Program)をスタートしました。一般的な留学と同様に、語学力の向上が目的となるのはもちろんですが、具体的な特色として以下が挙げられます。

外国語を用いて経済学を学び、経済学に関する知識やスキルを身に付けます

現地企業等へ訪問し、他国のビジネスの現場に触れることができます

本学と連携している現地大学にて講義を受け、現地学生とディスカッションができます

現地大学の学生との交流や多様なアクティビティを通じ、異文化社会を体感します

また現地に精通した教員が引率し、留学自体が初めての学生に対してのサポートも手厚く行います。

留学先実績（長期および短期の各プログラムは隔年で実施します。）

30日間のプログラム

▶ 2023年度実施予定

オーストラリア／西シドニー大学

- 少人数クラスで集中的に英語を学び、英語力を飛躍的に向上させます
- 関心のあるトピックに対しプレゼンを行うことで自身の考えを英語で相手に伝える力を養います
- ホームステイを通じ、海外の生活を体験します

▶ 2024年度実施予定

ニュージーランド／オークランド工科大学

- 英語でニュージーランドの社会や経済を学び、ビジネス英語を学びます
- ニュージーランド航空本社でキャリアガイダンスを受講します
- ホームステイを通じ、日常的に英語に触れて生活できます

7～10日間のプログラム

▶ 2023年度実施予定

ベトナム／ダナン大学

- 英語による講義を通じ、ベトナムの経済や文化など、ベトナムに関する幅広い知識を学びます
- ベトナムの巨大ゴミ埋め立て場を訪問したり、現地学生とディスカッションを行います

▶ 2024年度実施予定

台湾／国立高雄科技大学・台湾大学・政治大学・玄奘大学

- 現地学生と双方の国の文化、社会についてディスカッションを行います
- 日本語、英語、中国語を使って、考え・調べ・まとめるプレゼンテーションスキルを養います



※プログラムの内容はいずれも予定です。留学先や期間などは変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

現代は、ヒト・モノ・サービス・カネ・情報が国境を越えて行きかいます。目まぐるしく変わる社会情勢を的確に把握するためにはグローバルな経済的視点が必要不可欠です。その第一歩となるような、学部独自の留学プログラムを経済学部では展開しています。

参加学生×引率教員



2023年3月卒業
立石 翔真さん



国際経済コース
岸 慶一 准教授

GoLDプログラムの魅力とは？

GoLDプログラムに参加したきっかけは？

立石 大学生生活を送る中で何か大きな挑戦をしたい、という願望がありました。オーストラリアに40日間留学できると知り、これだ！と感じたので参加を決めました。

岸 アデレード大学で5週間学ぶプログラムに参加しましたね。

立石 英語でのコミュニケーション力を高めるためにも、留学期間が長いオーストラリアのプログラムを選びました。

岸 現地の文化を体験することや、ホームステイを通じた人々との交流もGoLDプログラムの魅力ですが、日常的なコミュニケーションに問題はなかったですか？

立石 オーストラリアで実際に話されている英語は、日本で学んできた英語とは少し違うため、最初は戸惑いました。それでもバスの経路がわからないときには近くの人に聞いてみるなど、何事も物怖じせずに話しかけることを心掛けました。



プログラムで特に印象に残っている内容は？

立石 最終日に行ったプレゼンテーションです。4人でグループを作り、諸外国の経済について調べ、発表を行いました。英語で資料を作成し、英語で発表するという経験は初めてだったので苦戦しました。

岸 約2週間の準備期間はどのようなことに取り組みましたか？

立石 経済学の専門用語を覚えることや、発表に使うスライドの構成を考えることに注力しました。アデレード大学の先生方が、発表時の目線の配り方やジェスチャーまで、優しく丁寧に教えてくださいました。

岸 私もプレゼンテーションを聞きましたが、2週間であの高いクオリティに仕上げたのはすごいと思いました。立石さんのグループは、フィリピンの経済について発表しましたね。

立石 フィリピンが抱えるプラスチックごみの問題について、インターネットと図書館を活用して調べました。現在世界で起きている課題について調べ、考察できたことは貴重な経験でした。

岸 アデレード大学の図書館は、『ハリーポッター』シリーズに出てくるような美しさで圧倒されますね。

立石 留学生にとっても学びやすい環境が整っていると思います。おかげで発表までにしっかり準備ができました。

岸 立石さんはリーダーシップを発揮して、当日も英語での司会進行を担当していましたね。自信に満ちた発表で、今でも印象に残っています。



参加して変化したこと、成長したことは？

立石 スイス人とオーストラリア人のご家族のもとでホームステイを体験したのですが、水不足でシャワーを利用できる時間が短かったり、室内でも靴をはいて過ごしたりと、日本との違いを実感しました。

岸 ホームステイでは、単なるお客さんではなく家族の一員になることを求められますから、その環境に適応することも大切ですね。

立石 日本とは異なる「当たり前」を受け入れて、新しい環境を楽しむ姿勢を大切にしていました。

岸 多民族国家のオーストラリアで、多様性を感じることはありましたか？

立石 現地大学での授業では東南アジア、欧米などさまざまな国から来ている学生とディスカッションする機会がありました。自分の殻に閉じこもらず、自分から一歩踏み出して話しかけることで距離を縮め、一緒にピクニックに行くほど仲良くなることができました。

岸 アデレードは自然に恵まれていて、屋外で過ごすのも楽しいですね。

立石 アデレードは電柱が少なく、道も広くて街全体が美しかったです。アクティビティでみんなで出かけたフルリオ半島の自然も印象的でした。

岸 アクティビティやベアワークを通して、参加学生同士が仲良くなるのも本プログラムの特徴ですね。

立石 プログラムに参加した仲間とは、帰国後も交流が続いていて、良い出会いに恵まれたと思います。



今後はどんな目標をもっていますか？

立石 プログラムで身に付けた、コミュニケーション能力や国際感覚を生かせる仕事に就きたいと考えています。

岸 プログラムに参加した皆さんは、驚くほど成長しますね。留学を経て、英語の運用能力も高まりましたか？

立石 TOEIC®のスコアで850点を獲得できました。将来は英語を使って、海外の国や企業と交渉できるようになりたいです。

岸 立石さんはリーダーシップを取り、まわりを巻き込む力がある人だと思うので、国際的な視点から物事を考える力を伸ばして、グローバルに活躍されることを期待しています。

※体験談は当時の留学プログラムの内容に基づきます。



社会的課題に向き合う

経済学部では、3年次よりゼミに所属し、少人数で研究内容を深めることができます。各々のゼミでは幅広いテーマを扱っていますが、ここでは現代の社会が抱えるさまざまな課題に多様な方面からアプローチしているゼミを中心に紹介します。

本西ゼミ

問題意識をもって社会を見渡し 解決策を考える



竹野さんに聞きました！
ゼミナール Q & A

本西先生からのメッセージ



実際に現地を訪ね、地元の方々から話を伺いました

地方自治体の経済政策をテーマに研究を行っています。その一環として、兵庫県南東部にある猪名川町の政策研究に取り組んできました。猪名川町は大阪の都心部にアクセスしやすい立地でありながら、自然が多く残り、憧れの田舎暮らしを送ることもできる魅力的な地域です。私たちは『猪名川町に合った猪名川町のための政策』の提言を最終目標として、実際に現地へ足を運び、地元の方に取材する現地調査を実施しました。



Q. なぜ本西ゼミを選びましたか？

A. 実際に地域活性化のための政策提言を行うという活動内容に魅力を感じました。また、グループワーク中心の活動を通して、他のゼミ生の意見を取り入れながら、自分の考えを深めることができると考えたからです。

Q. ゼミ活動はどのように進めていますか？

A. 日常的に時事問題を取り上げ、質問や議論を行うことで、課題を探し解決策を考える習慣を身に付けることができました。また意識的にグループ内での話し合いの回数を増やし、自分は何ができるのか、仲間は何を頼みたいのかを自ら発信できるようになりました。

Q. ゼミでの経験をどのように生かしていきたいですか？

A. 卒業後は、公務員として政策提言を行い、地元に貢献したいと考えています。ゼミで培ったコミュニケーション能力や、問題点を発見して解決策を考える力を生かして活躍することが目標です。

身近なニュースや出来事をテーマに研究を行い、 グループで課題解決につながる政策を考える

報道や身の回りで起こった出来事から問題点を発見し、その解決のために必要な政策を考えることが本ゼミのテーマです。授業では具体的なニュースを取り上げ、学生からも積極的に質問を受け付けながらその背景や解決策について考えていきます。

竹野さん達は猪名川町ならではの特色を探し、観光プロモーションの提案を行いました。ボランティア団体の方などから話をお聞きして現実を知り、他の自治体の事例などを調べながらその都度自分たちの仮説を修正しながら地に足のついた政策へと落とし込んだ点は高く評価できます。

本ゼミではグループ単位で卒業論文を執筆します。地道な下調べが得意な人、アイデアをどんどん出せる人など、それぞれの特徴を生かして役割を分担することで論文の質が高まります。また、他人と連携・協調しながら卒業論文執筆という目的を達成する経験は、社会に出てからも大きな助けになると考えています。



経済政策コース
本西 泰三教授

地域をより活性化するための政策を実際に提言することができました



交通の便や関係者の高齢化など、現地を訪ねたからこそ見えてきたこともありました。そして調査結果をもとに、私たちは地域のボランティア協会、観光協会と連携することを提言しました。猪名川町には複数の観光資源がありますが、現在はボランティアの方が観光ガイドを務めています。この仕組みをNPO法人化して謝礼をお渡しすることでガイド内容の充実を図ること、スマホアプリを使ったデジタルスタンプラリーを導入することなどを提案しました。こうして経済学部生ならではの視点で分析した内容を、地元の方々に発表させていただきました。

4年次生
竹野 成美さん(本西ゼミ所属)

ゼミ紹介

後藤 ゼミ

大学の枠を超えた政策提言で地域経済を動かします

現代の日本における地域産業・経済の発展をめざす

学生を主体とする実践的な政策提言型プロジェクト「SKIMA Project」を運営しています。このプロジェクトは鹿児島県曾於市と連携し、地域産業・経済の発展をめざすものです。学生が現地を訪れて実際に調査を行い、現実の発展・開発課題に向き合いながら考えを深め、問題解決へのアプローチ方法を探ります。市役所、市議会、企業、さらには近隣の自治体も巻き込む本気のプロジェクトですから、学生の言動にはとても大きな責任が伴います。コミットメントに対する自主性・考動力・チーム力が問われる中で、頭だけではなく体を動かす経験を通じて、グローバル社会を生き抜く力を身に付けてもらいたいと考えています。



国際経済コース
後藤 健太教授

柏原 ゼミ

現代の日本社会が抱える問題を歴史的な視点から考察します

物事を長期的かつ冷静にとらえる視点を身に付ける

現代の日本社会はさまざまな問題を抱えています。問題が大きくなり長期化すると、容易に解決できない場合が少なくありません。このゼミでは多様な問題の歴史的な経緯を丁寧に解きほぐし、過去の成功例や失敗例などからその解決を考えます。単に歴史を学ぶだけではなく、現代との対話を頭に置いて研究することを大事にしています。現代と歴史の双方を追うことは大変な面もありますが、ここで獲得した物事を長期的かつ冷静にとらえる視点は、いろいろな場面に応用できて、社会に出てからも役に立つと思います。また、ゼミの親睦を深めるために、日本史に関係する場所へ見学に行くことも楽しみの一つとなっています。



歴史・思想コース
柏原 宏紀教授



PBL教育



経済学ワークショップ

経済学部生全員が1年次春学期に履修する「経済学ワークショップ」では、グループで課題解決に取り組むPBL教育(Project-Based Learning)を導入しています。PBL教育では課題解決の方法を自分たちで一から主体的に考え、解決策を発表。グループワークの中で、ノートテイキングやプレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成などの基礎的スキルを身に付けながら、社会で役立つ基礎能力を養います。

少人数クラス制の実践的な学びで、主体的な課題解決スキルを身に付けます



参加学生 × 担当教員



グループディスカッションの魅力とは？



松田 経済学ワークショップは、大学での学びとは何かを知り、それを実践することが目的です。並行して同学年のつながりを築く機会にもなります。その一環として、森本さんのクラスでは、グループごとに1泊2日の旅行プランを立ててもらい、その旅行先を紹介してもらいました。

森本 私たちは北海道の小樽を紹介しました。行程、まちの見どころ、グルメ、お土産など、紹介するジャンルを分担して取り掛かったのですが、メンバーによって情報収集の方法、資料作りに対する経験や取り組み方が異なる点に難しさを感じました。

松田 PowerPointを使ってもらいましたが、初めて触れた人もいたと思います。

森本 私は高校の時から使っているので、自分の資料を参考にしてみたい、見やすい資料の作り方をメンバーで協力して考えていきました。

松田 進め方が分からないときは、一人で悩まずに周りの人に聞いてみるのが大切です。チームの中で仕事を分担して進めるときには、個々に任せきりではなく支え合うことで、成果を高めることができます。

森本 資料作りを始める前に、先生から「引用元をきちんと書くこと」とアドバイスを受けたことが印象に残っています。発表資料に記載漏れがないか、注意深くチェックしました。

松田 みなさんが文書を作成する際に書籍・論文・インターネットを参照する場合、引用元を明記することが非常に重要です。授業で提出するレポートやプレゼンテーション資料の作成、卒業論文の執筆でも卒業してからでも欠かせないルールなので、この授業で身に付けてもらいたいですね。

森本 発表当日に最も印象に残ったグループでは、伝えたいことを絞って資料をまとめ、聞いている人の目を見て話していました。私も大学生活を通じてプレゼンテーションの技量を高めていきたいです。

松田 発表者が「この面白さを伝えたい!」と心から思っている発表では、その熱意がおのずと伝わってくるものです。またスライドの見やすさ、視覚的に訴える話し方や姿勢など発表のコツは、上手な人のプレゼンテーションを見て工夫するといいですよ。大学生活も一年が過ぎましたが、森本さんは今後、どういことを学んでいきたいですか。

森本 今はマーケティングに興味をもっています。簿記も学び、いずれは資格取得にもチャレンジしたいと考えています。

松田 興味があることにどんどん挑戦してもらいたいです。分からないことが出てきたら、私たち教員に遠慮なく質問してくださいね。

ゼミ紹介



野坂 ゼミ

労働に関するさまざまな分野を経済学の視点から追究します

自身が働くことと経済全体のつながりを理解する

ワークライフバランスや女性の雇用、非正規雇用、外国人雇用、所得格差や貧困問題、教育と雇用の関係など、労働問題を中心にさまざまな分野を取り扱います。働くことは、学生の近い将来とも密接に関係するテーマです。就職活動に臨む前に労働に関する分野を学び、日本の働き方の特徴やその背景を研究することは、今後の生き方の重要な指針にもなるでしょう。研究においてはただ現象を追うのではなく、背後にある経済メカニズムを明らかにし、その根拠を客観的に示すデータの扱い方を身に付けてもらいます。最終的には、卒業論文を作成する分析力、構成員力、文章力をつけてほしいと考えています。



ゼミナール大会



第58回経商合同学内ゼミナール大会を開催

経済学部・商学部が合同で行っている学術大会です。さまざまなゼミから学生たちがチームを組んで参加し、約1年間にわたって学んできた研究成果の集大成を披露します。58回目を迎えた2022年度は、各ゼミから選ばれた代表チームが参加するプレゼンテーション部門が開催されました。年に一度の貴重な機会を生かし、学生間でも積極的な意見交換がなされるなど、大会は大いに盛り上がりしました。

発表テーマ センチメント分析による景気動向予測評価



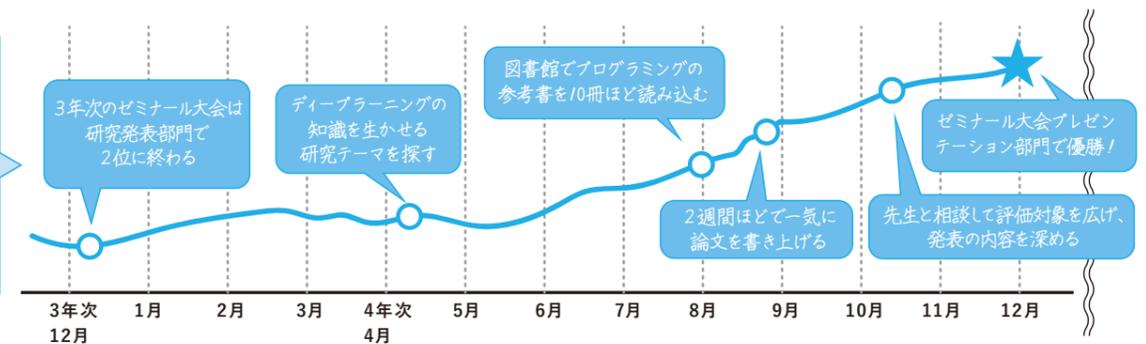
期待や諦めなどの感情は景気動向に影響を与えるのか

2020年春以降のコロナ禍の下で、先行きが見えないことへの不安を感じていました。そこで、人々や企業の感情や期待が景気動向にどのような影響を与えるのか、予測モデルの構築と変動要因の考察を行おうと考えました。具体的には、膨大なテキスト情報にアニマルスピリッツ(不確実な状況下において企業などが抱く予想)を与え、回帰分析、機械学習、深層学習という3つの異なる方法で、景気トレンドと変動要因を分析しました。この分析においてはプログラミングが一つの課題でしたが、ゼミで培った課題をブラッシュアップする力、答えを考え抜く力、そしてプログラミングについて学習した知識を基に、先生からもアドバイスをいただきながら発表資料を書き上げることができました。

ゼミ活動で得た力を存分に発揮することができた

ゼミナール大会当日は、発表時間を全て使い切るのではなく、伝える内容を集約して、ゆとりをもって発表するように心がけました。その結果、先生方から研究の課題点についてご指摘をいただき、学びや気づきを得ることができました。日頃のゼミ活動では、自分の研究発表だけでなく、他のゼミ生の発表内容を理解して質疑応答を発売に行っています。その成果は本大会においてもしっかりと発揮することができたと思います。研究結果にはまだ複数の課題がありますが、現状の自分の力を形にできたことは、大変貴重な経験となりました。また他のゼミのハイレベルな発表の姿で評価されたことは、今後への自信につながりました。

細見さんの成長グラフ



担当教員のコメント

論理的に考え、データ分析の力を磨くゼミです。

環境問題をはじめ、さまざまな社会問題について扱っています。重視しているのは、現在起こっていることがなぜ起こっているのかを論理的に考え、データによってその因果関係を立証するためにどのような分析をすればよいかということです。データ分析は場数を踏むことが重要です。そのために、3年次と4年次で2本のデータ分析を踏まえた論文を書いてもらっています。細見さんはデータ分析の基礎をゼミで学びましたが、そのあとは独学で高度なデータ分析手法を身に付けていきました。今回の発表で使っていたテキストマイニングの手法は学部生としてはかなり高度な手法であり、存在が際立っていました。近年はデータ分析のニーズがますます高まってきており、実社会でもデータ分析の知見を生かして活躍の場を増やしてほしいです。



経済学部でつかんだ将来

～志望企業に内定した学生が語る4年間～

大学生活におけるさまざまな経験は、一人ひとりの未来を決める一助となります。経済学部で4年間学び、卒業する2人の先輩に、学生生活における経験と成長、そして大学卒業後の目標についてお話しいただきました。

経済産業省 に内定

2022年3月卒業
宮下 拓真さん

入学時

社会に出るまでに世の中の 仕組みをしっかりと理解したい

なぜ失業が起こるのか、GDPとは具体的に何なのか、為替レートが変動するとどうなるのかなど、高校時代に深く理解できていなかった世の中の仕組みについて、社会に出る前にしっかり学んでおきたいという思いから、経済学部を志望しました。また、高校時代に交換留学生と交流した経験から留学にも関心があり、学部独自の留学制度「GoLDプログラム」がある関西大学経済学部を選択しました。

2年次

GoLDプログラムを利用してニュージーランドに留学

経済学部のGoLDプログラムを利用してニュージーランドの大学に短期留学。英語で経済学の授業を受けるとともに、同国の先進的なエネルギー政策や環境対策について学びました。現地の方々に原子力の是非についてリサーチし、帰国後日本との比較を基に英語で発表し、レポートも作成しました。持続可能な未来のヒントとなる研究であると評価されたことで自信につながり、卒業論文のテーマとして継続し研究を進めることにしました。

3年次

専門性の高い学びを通じ 遠い海外での出来事も 身近に感じられるように

留学を経て日本と海外の違いを強く実感したこともあり、帰国後は国際経済コースを選択。主にアメリカ経済やアジア太平洋経済など地域ごとに異なる経済発展のプロセスを学び、ゼミではアメリカ大統領選の結果が日本経済に及ぼす影響について分析しました。専門性が高い学びのなかで、もの見方が変化し、テロ事件や原油の値上げ、飢饉といった遠い国々の出来事も自分の日常につながっていることを実感できるようになりました。

4年次

留学経験で得た発見を卒業論文に 継続的な学びは就職活動のプラスにも

「エネルギー転換がもたらす世界の未来と日本の課題」をテーマに卒業論文を執筆しました。パリ協定以降の世界の急激なエネルギー政策の転換と、遅れをとっている日本の現状を比較し、コストや市場価格といった視点を踏まえてエネルギー政策のあり方を論じています。2年次の留学以来、継続的にこのテーマに取り組んできたことで、就職活動においても自身のやりたいことを明確に伝えることができました。

社会での 活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A 経済学を通して身に付いた幅広い教養が、自分の考え方のベースをつくってくれました。また、国家公務員試験では地域課題や人口動態など、学んだことが出題される機会も多く、経済学部での学びが役立ちました。

Q 卒業後の目標は？

A 内定をいただいた経済産業省では、エネルギー政策や中小企業支援、地域課題の解決などといった幅広い社会課題に取り組むことができます。学部で学んだことを生かし、日本がより良い方向に向かうための力になればと思います。

エヌ・ティ・ティ・ コムウェア に内定

2022年3月卒業
加田 真子さん

入学時

経済学は日常生活とつながりが 深い点に魅力を感じた

高校生の時に経済学の講義を受ける機会があり、鉄道が地域経済やまちづくりに与える影響について話を伺いました。経済学は実生活と深く結び付いている学問だと知り、社会と学びがつながっていることを実感しながら学習できると思い、経済学部を選びました。またオープンキャンパスに参加した際、先輩たちがいきいきと学生生活を楽しんでいる様子を見て、この環境で学びたいと感じたことも決め手になりました。

1年次

経済を学ぶ面白さを感じつつ、 サークルでは全国優勝を達成！

4年間の学びの基礎となるミクロ・マクロ経済学を修得しつつ、「経済学ワークショップ」を通してコンビニのマーケティングに興味をもちました。同じエリアに系列店舗が密集する理由や、クリスマスケーキなどの季節商品の廃棄ロスが発生する原因についてグループで調べ、資料をまとめて発表しました。また、所属していた軟式野球サークルではマネージャーを担当。12月には全国優勝を果たすことができました！

2年次

専門性の高い学びに触れ、 流通経済に対する興味を深める

「流通経済論」では、流通のメカニズムや関連する政策について学びました。例えば、大規模小売店舗法という法律がありました。かつて、深夜まで営業を行う百貨店やデパートがなかった理由は、この法律によって営業時間を実質的に規制されているからだ学びました。1年次よりも専門性の高い内容でしたが、流通経済の分野は自分も消費者として関わりがあるテーマが多く、その仕組みの全体像や裏側を知る面白さを感じるようになりました。

3年次

食品ロスに関する調査をまとめ、 プレゼンテーション大会で発表

マーケティングを学ぶゼミに所属し、学外のプレゼンテーション大会入賞をめざして活動しました。私たちのグループは「利益・食の安全・食品ロスの削減」の全てを両立する方法を探るために、大学生協における取り組みを調査。オンラインでの取材などを通して、食の安全管理が予想以上に大変であることを学びました。残念ながら大会での入賞は逃しましたが、コロナ禍でも実践的な研究に取り組みました。またゼミ活動と並行し、11月頃から企業のインターンシップに参加して、翌年の就職活動に備えました。



4年次

4年間で学んだ集大成として、 卒業論文の執筆に力を注ぐ

卒業論文のテーマとして、現在急成長を遂げているサブスクリプションビジネスを取り上げました。例えば「高級ブランドバッグを月額数千円で何度でもレンタル可能」など多様な形のサービスが生まれています。従来の使った分だけ料金を支払うサービスとの違いや将来性などについて、データ分析も交えながら説得力のある論文に仕上げることができました。ゼミでの学びだけでなく、数々の授業で学んだ知識を活用し、4年間の大学生活における集大成となりました。

社会での 活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A 就職活動では、プレゼンテーション大会での経験をアピールしました。コロナ禍という前例のない状況下でも、工夫を凝らして取材を行い、困難をチャンスに変えてチームを引っ張った力を評価していただきました。

Q 卒業後の目標は？

A IT業界でシステムエンジニア(SE)として働きます。情報系の知識とスキルはこれから身に付けることばかりですが、在学中に学んだビジネスの仕組みを捉える視点や、人と協働しながらミッションを進める力を生かしたいと思っています。

キャリアデザイン

就職率

98.0%

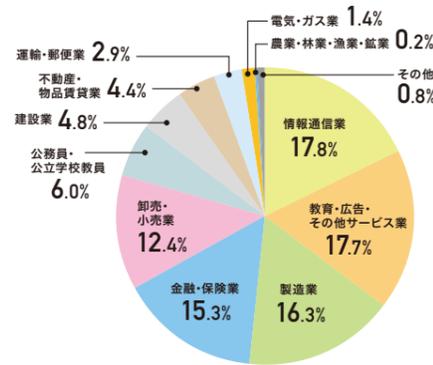
男子

97.7%

女子

99.0%

2022年度
業種別
就職状況



経済学部の卒業生は、メーカーをはじめ、金融・保険、情報通信、公務員など多様な分野に就職しています。本学はキャリア支援に力を入れており、毎年400社以上の企業を学内に招きセミナーを実施しています。業界・企業研究セミナーに加え、一次選考も含めて学内で実施する単独企業セミナーなど、学生の興味・関心の幅を広げるプログラムを取り揃えています。

就職先の一例(2022年度実績)

情報通信業	伊藤忠テクノソリューションズ、内田洋行、SCSK、NECソリューションイノベータ、エヌ・ティ・ティ・データ関西、NTTドコモ、大塚商会、オービック、オブテージ、カプコン、キヤノンITソリューションズ、サイバーエージェント、JCOM、システム、ソフトバンク、富士ソフト、富士通、三重テレビ放送、楽天グループ など	卸売・小売業	イオンリテール、稲畑産業、岡谷鋼機、高島屋、キヤノンマーケティングジャパン、シャープマーケティングジャパン、住友商事、セブン-イレブン・ジャパン、ダイワボウ情報システム、ニトリ、阪急阪神百貨店、阪和興業、山善 など
教育・広告・その他サービス業	有限責任あずさ監査法人、関西電気保安協会、大和総研、有限責任監査法人トーマツ、西日本高速道路(NEXCO西日本)、日立ビルシステム、ペイカレント・コンサルティング、マイナビ など	公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、国税専門官、東京都教員、大阪府教員、大阪府職員、京都府職員、兵庫県職員、和歌山県職員、大阪市職員、高槻市職員、奈良市職員、大阪府警察官、奈良県警察官 など
製造業	アイリスオーヤマ、アマダ、イトーキ、NOK、オムロン、花王、キーエンス、協和キリン、栗本鐵工所、グンゼ、神戸製鋼所、小林製薬、サカタインクス、GSユアサ、ジェイテクト、資生堂ジャパン、スズキ、住友電気工業、大日本印刷、ダイフク、太陽日酸、タカラスタンダード、デンカ、東芝テック、TOTO、日本電気(NEC)、日本製鋼所、能美防災、パナソニックグループ、プリマハム、丸大食品、三菱重工業、村田製作所、山崎製パン、UHA味覚糖、UBE、ローム、YKK AP など	建設業	一条工務店、住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業、ミライト・ワン、LIXIL、リンナイ など
金融・保険業	三井住友銀行、三井住友カード、三菱UFJ信託銀行、関西みらい銀行、紀陽銀行、京都銀行、南都銀行、中国銀行、広島銀行、大阪シティ信用金庫、大阪信用金庫、京都中央信用金庫、近畿労働金庫、みずほフィナンシャルグループ、りそなグループ、オリックス、日本生命保険、住友生命保険、東京海上日動火災保険、第一生命保険、かんぽ生命保険、朝日生命保険、損害保険ジャパン、大和証券、野村證券、SMBC日興証券、大阪信用保証協会 など	不動産・物品賃貸業	イオンモール、オリックス自動車、積水ハウス不動産関西 など
		運輸・郵便業	ANA大阪空港、山九、センコー、日本通運、日本郵政グループ、阪急電鉄、三井倉庫ホールディングス など
		電気・ガス業	大阪ガス、関西電力 など

※原則として業種別、50音順で記載しています

卒業生からのメッセージ

経済学部の卒業生は、国内外の経済を理論と実践から学んだ経験を活かし、幅広いフィールドで活躍しています。

先輩方から、現在のキャリアに在学中の学びがどのようにつながっているかを教えてもらいました。

ゼミナール大会に向けて 自分たちで考え抜いた経験が 日々の営業活動を支えています



小林製薬株式会社

2021年3月卒業
糸井 大貴さん

小売店舗との商談、売場づくりを担当

現在は中四国エリアで、担当する小売店の特性に合わせた商品提案と売場づくりを行っています。オーナーの方から直接感謝いただくこともあれば、販売結果が振るわないこともあります。挑戦や失敗に寛容な社風に助けられ、改善して次の提案に生かそうと前向きに取り組んでいます。在学中はゼミナール大会での発表に力を注ぎました。テーマや発表方法など、全て自分たちで考えて試行錯誤した経験は、商談内容や提案の仕方を考え、その結果を見て改善を続けていく、現在の営業活動の土台になっています。

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
卒業後も生かせる基礎知識と考え、意欲的に学びました
- 3年次 ゼミでアジア経済を学ぶ
発展が著しい中国を中心にアジア経済について研究しました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
固定ファンが多い「ラーメン二郎」の経済効果について掘り下げました

府民や事業者に対して 根拠をもとに客観的に説明する力を 在学中に身に付けました



大阪府庁

2019年3月卒業
渡邊 真夏さん

感染症対策支援課で府民に対する支援事業を担当

自宅療養者への配食サービスや宿泊療養体制の整備など、コロナ下での府民に対する支援事業を担当しています。公務員は、部署によって全く異なる業務を経験できることが魅力です。どの業務も府民が安心して快適に暮らせることを目的にしており、利害にとらわれず社会に貢献できることにやりがいを感じます。在学中は物事の因果関係について、データや数値を用いて客観的に根拠を説明する手法を学びました。この経験は現在、府民や事業者に対し説得力のある説明ができ、公平公正に業務を行うことにつながっています。

現在につながる在学中の学び

- 3年次 開発経済学を学ぶ
途上国の経済発展について学び、貧困の原因について考えるようになりました
- 3年次 ゼミ大会に出場
統計学を学び、ゼミナール大会でプレゼンテーション部門に出場しました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
各国の軍事情力が経済発展にどのように影響を及ぼすかを調査しました

ゼミ活動を通じて身に付けた データを集めて分析する能力が 現在の業務に役立っています



楽天株式会社

2019年3月卒業
西 彩佳さん

スマートフォンの基地局設置の進捗管理を担当

楽天モバイルのユーザーに安定した電波をお届けするために、基地局(アンテナ)設置の進捗管理を行っています。お客様と直接お会いすることはありませんが、テレビCMで宣伝されていたり、ユーザー数が増加していたりと、社会の情報化に貢献していることを実感しています。在学中はゼミ活動で毎週プレゼンテーションを行い、数字に対する分析力やリサーチ力を身に付けることができました。現在の進捗管理業務においても、データを分析しながら進捗効率を高めることに、在学中の経験が役立っています。

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
経済学の観点から世の中を学ぶための基礎を身に付けました
- 2年次 アメリカ・ロサンゼルスへ留学
さまざまな国籍の学生と交流し、多様な考え方を学びました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
学びの集大成として「価値を高めるブランド力」について研究しました

在学中に得た業界分析と 企業の意思決定の知識が 日々の業務で生きています



パナソニックコネクティブ株式会社

2016年3月卒業
柏原 貴之さん

業務用プロジェクトなどのマーケティングを担当

プロジェクトマーケティングなどで使われる業務用プロジェクトなどのソリューション提案を行っています。オリンピックや万博といった大規模なイベントから、教育機関・企業のお客様まで幅広く関わることが魅力です。大規模なイベントが終わった後に、来場者やメディアの方が「あのプロジェクトマーケティングすごかったね」と感動する様子を見ると、とてもやりがいを感じます。在学中にゼミで学んだ業界分析や企業の意思決定に関する知識、そしてグループ発表で得た経験が、現在の業務に役立っています。

現在につながる在学中の学び

- 2年次 GoLDプログラムに参加
アトレード大学で学び、グローバルに関わる仕事を志望するようになりました
- 3年次 ゼミ大会に出場
グループでの準備、発表を経験し、組織の中で働くことを意識するようになりました
- 4年次 懸賞論文に応募
ゼミのチームで懸賞論文に応募し、最優秀賞をいただきました